

岩倉市タウンミーティング（岩倉団地自治会）会議録

日時 令和7年9月20日（土）

午前10時30分～正午

場所 岩倉団地集会所

出席者 岩倉団地自治会 37名

市長、副市長、市民協働部長、建設部長、協働安全課長、市民協働グループ長、
上下水道課長、上水道グループ長、秘書人事課長、秘書広報グループ長

1 あいさつ

- ・岩倉団地自治会 会長 時田正人氏
- ・久保田市長

2 懇談

テーマ P F A S問題と外国籍居住者問題について

（1）P F A S問題について

市長、上下水道課から状況等の説明後に懇談

【参加者】 県水の水に切りかえるという話があったが、100%県水の水にすることか。

【市長】 災害時のことを考えると井戸は貴重であるが、100%石仏の配水場からの水に切りかえる。ただし、石仏の水もそこにある井戸の水を1割ほど混ぜているため、県水100%ということではありません。

【参加者】 県水というのは、どこから来て、どこで浄水されているか。

【上下水道課長】 犬山城の近くで木曽川の水を取り入れて、犬山駅の東の方にある浄水場で浄化し、そこから石仏の配水場まで管で来ている。それを市内に配水しており、その水が皆さんにも届くようになる。県の水もP F A Sの検査をしていて、数値は問題ない値になっている。

【参加者】 石仏の配水場の水は市全体で使われるようになるのか。

【市長】 すでに市内の7割ほどは、配水場からの水を使っている。自己水源を持っていることも大切であるため、全てを県水に切りかえるのではなく、検査をしな

がら安全な水を供給できるような体制にしていきたいと考えている。

【参加者】 昨年と今年で東町のP F A Sの値は、24 から 32 に上がっている。いずれは全て県水に切りかえることになるのではないか。

健康問題について、P F A Sの血中濃度を調べる予定は無いとのことだが、やるべきではないか。私は昨年自分で調べた。ドイツの基準でいくと完全にアウトになる値だった。

【市 長】 自己水源を県水に切りかえていくことについて、検査数値を見ると市内の東の方でP F A Sの値が高くなっている。その原因は不明、他市町では飛行場が近いとか、工場が近いとか原因が特定されているところもある。全ての水源について定期的な検査を今後も行っていくので、状況を見ながら判断をしていく。

健康問題は一番心配されるところであり、気持ちはよく分かりますが、国の暫定目標値である1リットルあたり50ナノグラムを超えている状況ではない。庁内でも議論したが、こうした状況下では対応を取りづらいため、検査を実施するような対応は見送ることにした。

【参加者】 岡山県の吉備中央町は、800人の血液検査を実施している。なぜ岩倉ではできないのか。安全であることを明らかにするために検査をやるべきだと思うので、ぜひ実施して欲しい。

【市 長】 岡山県の例は暫定目標値を超えていた。また、企業でも先日ダイキン工業が検査をするという報道があった。P F A Sに関しては医学的に解明されていない部分もあり、水道水だけが原因ということも言えないため、色々な要因が入ってくる。国の基準を判断材料としているため、ご理解していただきたい。

【参加者】 P F A Sに発がん性が無いと言われても、報道などによって先入観があり不安。目標値を超えていないといっても、ぎりぎりなので影響が無いものなのか。

【市 長】 49ナノグラムという数値が悩ましいところではある。発がん性があるものは様々なものがあるが、それを摂取する期間や体に蓄積されるものなのかにもよる。P F A Sの影響は医学的にも解明されていないものであるため、国の基準を判断材料としている。今後、基準値が大きく変わるなどの変化があれば対応を考えなければいけないが、対応を取りづらいことをご理解していただきたい。

【参加者】 発がん性は無いのか。

【上下水道課長】 発がん性が無いということは言っていません。血液検査の結果をもって、それが何に影響しているかが分からないということ。発がん性の疑いがあるから規制がこれからかかっていくことになり、私たちから発がん性が無いということは言えません。

【参加者】 腎臓がんのことがよく言われている。腎臓からの排出が悪い。P F A Sは水よりも重いため、地下水をくみ上げるところに溜まっているということを聞いた。

【参加者】 新聞やテレビの報道でP F A Sは発がん性があると報道されていて、そうなのかと私は思っている。

【市 長】 健康が一番なので、心配されるお気持ちは分かります。行政が動くには根拠が必要になるため、まだ確定していない、分からないことについて、対応が難しいことをご理解ください。井戸水の検査については、くみ上げた後の蛇口から取水した水を検査している。

【参加者】 浄水器を付けている人が多いが、使い終わったフィルターをどうやって捨てればいいのか。

【上下水道課長】 細かい部分の処理の仕方は示されていない。水道事業体がこれからP F A Sに対応していくと吸着する活性炭の処理が必要になってくるので、国からもそのことを加味した計画を立てるように連絡がきている。家庭に付いている浄水器のカートリッジの処理については、不明ではあるがゴミとして出したり、定期購入をしている場合に購入先に返却したりしていると考えている。

（２）外国籍居住者問題について

市長、協働安全課から状況等の説明後に懇談

【参加者】 ブラジルの国籍の人が減ってベトナム国籍の人が増えたという話があったが、外国籍の人はどんな仕事の人が多いのか。

【協働安全課長】 外国籍の人がどんな仕事に就いていて、どんな時間帯に働いているかの状況については把握できておりません。

【市 長】 今の外国籍の方の勤務状況についてのご質問ですが、外国籍の方は比較的工

場勤務など夜勤が多い職業に就かれているため、日中に開催される自治会の会合やイベントなどに出られない状況があり、現状懸念されているのでしょうか。

【参加者】 心配しているのは、特にベトナム国籍の人が同じ国の人で集まりがちで、日本人との接触をあまり好まないと聞いている。それをどう打開していくか。接触の仕方を考えていかないといけない。

【市 長】 傾向として言葉が通じる人でかたまってしまうというのは、よく聞いている。何かきっかけが必要となるが、防災訓練やゴミ出しなどを機会として会話をしていくことが大切であると考えている。他市の成功事例などがあれば、紹介していきたい。外国籍の人に関する課題については、皆さんの方がよく状況を知っているので、聞かせてもらいたい。

【参加者】 私がお願いしたいのは、外国籍の人が働いている企業から話をしてもらいたいということ。私の住んでいる棟にも若い外国籍の人が入ってきたが、日本人と接触はしないという印象を受ける。市から雇用している企業に話をして、日本人とコミュニケーションを取るように働きかけられないか。

【市 長】 外国籍の人の雇用形態も色々あり、人材派遣会社から派遣されている人もいれば、企業が直接雇用している人もいる。転入で市の窓口に来る際には、人材派遣会社であれば、会社の人が付いてくることが多いと聞いている。また、市から今、依頼があったようなことを企業の人に話す機会もあるが、3,000人以上いる外国籍の人にどれくらい通じているかというと、全体には行き渡ってはいないと思う。機会を捉えながら、PRをしていきたい。

【参加者】 UR、自治会、市で協力して対応して欲しい。赤い羽根共同募金でも外国籍の人は分からないから、なぜ寄附をしないといけないのかとなってしまう。また、ふれ愛まつりにも外国籍の人が来てくれるブースがあるといい。

【市民協働部長】 市役所の外国人支援員のところには、手続きに関することだけでなく、具体的に生活で困っていることの相談が多くある。その中で日本の文化や風習を伝えることも実施している。外国籍の人も一人が分かってくれば横の繋がりが強いので、広がっていくと考えているので、そのような取組を行っていく。

【参加者】 コミュニケーションが取れないと地震の時に外国籍の人たちも困るのではないか。市はどういう対応を考えているのか。

【市民協働部長】 市には、外国人支援員がいるがポルトガル語とスペイン語しかできないので、その他の言語にはポケトークという翻訳機も利用している。また、今はスマートフォンで通訳ができるので、外国籍の人が自らスマートフォンを持ってきて、やり取りをしている。災害時もそのような機器を利用してコミュニケーションを取ることができると考えている。ただし、災害時の対応に関するPRは必要であると感じているため、今後取り組んでいきたい。

【市 長】 以前、岩倉団地で火事があった際に消火活動による放水で、火が出たところだけでなく、下の階まで水浸しになってしまった。警察や消防が住んでいる人に連絡を取ろうとしたが、上手くできなかった。その際にブラジル国籍の人が間に入って来て通訳してもらったことをよく覚えている。その時に外国籍の人の横のつながりが強いこと、社会的な意識も高いことが分かった。

今は、その頃より多国籍化が進み、状況も変わってきているため、皆さんと一緒にコミュニケーションの壁を超える方法を考えていかないといけないと思う。

【参加者】 ベトナム国籍の10歳になるまでのこどもが78人いる。私は岩倉東小学校でコミュニティスクールのコーディネーターをしており、週に1回小学校に行っている。

岩倉東小学校は外国籍の子が多いだけでなく、特別支援学級の子も多くおり、その中に外国籍の子もいる。外国籍の子が3年保育を受けてから、小学校に入学してきているか疑問に思っている。3年保育の集団生活を経験せずに入学してくるとその時点でかなりの差があると感じている。3年保育の期間に発達障害などが分からないで、小学校に入学してくると岩倉東小学校の教育自体が難しくなる。今いる78人が3年保育を受ける体制を確保して欲しい。

【市 長】 岩倉市の高齢化率が上がらないのは、外国籍の人が若くて、こどももたくさんいるため。岩倉東小学校もずっと1学年1クラスであったが、2クラスになるくらいまで人数が増えてきた。その年代の子を預けるかどうかは保護者の考え方にもよる。こどもを受け入れる体制については、しっかりやっていきたいと考えている。

(3) その他

【参加者】 市内に巡回バスが必要だと思う。市内だけで問題があるなら隣の小牧市や一宮市と共同で乗り入れすることも検討して欲しい。私は昨年に半田市へ行った。半田市はバスが一方方向でぐるぐると巡回している。病院、買い物、市の施設を

巡回し、1回100円だった。

【市 長】 岩倉は鉄道の駅が3つもあり、交通の利便性が高いまちと言われているが、高齢の人や、障害がある人にとっては駅が近くても通らない話になり、移動の手段というのは行政にとって考えないといけない課題であると認識している。

鉄道、バス、タクシーなどには、それぞれの役割があり、鉄道は発着時刻が正確なのと大量輸送ができる。その駅に集めるのがバス、タクシーはドアツードアで目的地まで直接行けて小回りが利く。それぞれを使い分けするが、タクシー、バスには運転手がいらないという課題がある。巡回バスについても色々考えている。公共交通が何で一番使われるかというとは病院と買い物になるが、皆さんが行く病院はバラバラでないでしょうか。そうすると市内の病院を全てまわるかというとはそうはならない。タクシーは、岩倉市の中では有効な交通手段になっている。鉄道とタクシーの間の手段を考えていく必要があり、皆さんがどういう理由で公共交通を使いたいのか、どこへ行きたいのかを把握して交通手段を決めていきたいと考えている。バスありきでは無く、岩倉市にあった公共交通を検討している。皆さんに意見を聞く機会もあると思うので、その際には意見を聞かせてもらいたい。

【参加者】 先日、ピアゴまでタクシーを使った。帰りは乗り場にいてくださいという話だったので乗り場で待ったが、暑い中で1時間も待つことになった。

【市 長】 タクシー事業者とも話す機会があるので、話をしたいと思う。

【参加者】 P F A S の件で今は県水の割合が7：3であると聞いたが、水道料金の値上げを考えているのか。

【市 長】 県水を増やすと料金が上がることになる。時期は検討しているところで、元々令和9年の4月に値上げをしなければならない状況であったが、県水を増やすことになったため、会計状況を見ながら決めていきたいと考えている。料金の値上げは岩倉団地だけでなく市全体に関わる。

【参加者】 総合体育文化センターのトイレがほとんど和式なので洋式に代えて欲しい。女子トイレは洋式が1つで和式が3つもある。

【市 長】 お困りの状況はよく分かったので持ち帰りしたいと思います。

【参加者】 ふれ愛まつりに外国籍の人が行けるブースを作って欲しい。

【市民協働部長】 ふれ愛まつりには国際交流協会がブースを出しているので、ぜひ外国籍の人に紹介していただいて、寄っていただければと思う。

3 おわりの挨拶
・副市長

正午 終了